



滋賀県道路整備アクションプログラムの見直しに向けた地域ワーキングを開催

このたび滋賀県では、平成30年3月に公表した『滋賀県道路整備アクションプログラム2018』の見直しを実施することになりました。南部土木事務所では、12月21日に第4回南部地域ワーキングを開催しました。

◆◆◆ 第4回地域ワーキング開催概要 ◆◆◆

【日時】 令和4年12月21日（水）
14:00～16:00

【場所】 南部合同庁舎 4階4A会議室

▶ 地域ワーキングの目的

南部土木事務所管内の地域課題を抽出し、その課題を踏まえた今後の道路整備について、色々な立場の方から意見をいただくことを目的とする。



アクションプログラム策定スケジュール

第1回
ワーキング

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

第2回
ワーキング

第1回WGでいただいた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、意見をいただきました。

第3回
ワーキング

「地域の声」や「地域の重点項目」をとりまとめるとともに、地域の課題を解決する事業中箇所を提示し、意見を聴きました。

第4回
ワーキング

地域の声や地域の重点項目(最終案)を提示し、内容について意見をいただきました。

今回

アクションプログラム2023策定
(令和5年3月予定)

「地域の声」「地域の重点項目」(最終案)の提示内容

1 交通渋滞の緩和

本地域では、商業施設が立ち並び幹線道路や国道1号、8号等の南北軸と交差する東西軸における渋滞が目立ち、日常交通だけでなく物流交通に対しても経済的な損失を招いているほか、バスの定時性が確保できないといった公共交通の利便性低下にもつながっています。

このため、渋滞緩和に向けた道路拡幅やバイパス整備、交通処理機能強化につながる交差点改良等の積極的な実施が必要です。

2 災害時も含めたまちづくりに資する拠点間ネットワークの整備

本地域は整備が進む南北軸と比較すると東西の拠点間を結ぶ道路ネットワークが不十分であり、災害時の緊急輸送道路も限定されている状況となっています。

移動の効率化による地域の産業や生活機能の向上のため、国、県、市をはじめとする関係機関および地域が連携を進め、まちづくりと一体となり、かつ災害時にも機能する拠点間ネットワークの整備が必要です。

3 安全で安心・快適に利用できる歩行者・自転車の道路利用空間の整備

本地域は人口増加が継続しており、高齢者や幼児・児童、障害者をはじめ、まちを歩いて移動するすべての人が、ユニバーサルデザインの観点から、安全で安心して移動できる、歩きやすい歩行空間確保を望んでいます。

また、人口増加や環境意識の高まりによる自転車利用の増加により、日常利用における自転車関連事故が増加してきているほか、「ピワイチ」をはじめとする観光目的での県内外からの自転車利用者も増加していることから、安全で快適な自転車走行空間の確保も必要です。

4 快適な道路環境創出に向けた維持管理

橋の老朽化や道路舗装の劣化などに備えて、計画的な維持管理を充実させていくことが必要です。また、歩道にはみ出した草や標識にかかった枝葉などは、道路利用者の通行の支障となったり視界を妨げ危険性が高まるため、定期的な除草処理等の維持管理も必要です。

さらに、自転車利用観光客も含む、すべての人が安全かつ快適に道路を利用できるように、道路標識や路面標示の設置にも取り組むと共に、路面における誘導表示の意味等の周知にも努める必要があります。

「地域の声」

地域の
重点項目

1. 著しい渋滞を緩和できる整備 2. 幹線道路の整備 3. 通学路等の整備

ワーキングでいただいた主なご意見

▶客観的評価マニュアルによる事業の評価へのご意見

【全体を通じたご意見】

- これがすべて整備されればすごく良い地域になると思うので、なるべく早く着手してもらいたい。
- 地域の重点項目で客観的評価マニュアルに加えて、点数化して「見える化」しているのは良いと思う。市民にも道路整備の必要性が説明しやすい。
- 国道8号から竜王ICへのアクセス道路について検討していく方向性を示してもらって感謝申し上げる。
- 国道8号バイパスなど渋滞解消やまちづくりに期待できているので、円滑に進むことを期待する。5年以内に着手なのか完了なのか、分かりやすく掲載してもらえたらと思う。
- 5年後の道路計画になるが、整備されたところから問題点が解消されていて少しずつ進んでいると思う。誰もが住みよい、未来への道づくりに向けてよろしくお願ひしたい。

【拠点間ネットワーク整備へのご意見】

- 赤野井守山線は、地域の重点項目の加点が無く一次評価もランクⅡだが、続きのところを整備してもらえるように期待している。
- 大津草津線の矢橋中央工区はどういった形で整備していくのか。どこまで進んでいるのか。
- 菖蒲線は地元からも強い要望のある路線である。以前は実線で検討路線として挙げていたので、見たときに後退しているように思われぬようにしてもらいたい。
- 平野草津線については、運転する人のモラルもあるが、道路構造として、信楽方向からはカーブになっていて見えにくい。児童相談所や福祉センター、精神医療センター、養護学校などがある医療福祉ゾーンであるため、ぜひ早急な整備をしてもらいたい。
- 南北軸は山手幹線と湖南幹線、国道8号の野洲栗東バイパスが完成すれば、南北の整序化が図れると思う。片岡栗東線は国道1号と栗東ICのアクセス道路として非常に大事だが、非常に渋滞しているので早期の完成をお願ひしたい。

【拠点内道路空間整備へのご意見】

- 大津守山近江八幡線や大津草津線について、具体的な工法のイメージや整備イメージを教えてください。
- 多くの児童が通行する通学路の安全対策、浜街道周辺の歩道整備が進められることで、より住みやすいまちとなっていくものと思う。
- 片岡栗東線の焰魔堂・大門工区について、歩道整備としてバリアフリー化や自転車通行の確保をお願ひしたい。植樹帯や電柱もあり、歩道が狭い。街路樹を撤去して、乱横断防止のガードロープの設置をお願ひしたい。また、自転車歩道通行可であるが、自転車が通ると歩行者が危なくて通れない。4車線道路なので自転車の車道通行も危険である。守山南中学校も近くにあるので、早急に整備をお願ひしたい。

▶その他のご意見

- 南部地域は産業、商業が発展して人口が増加している地域。将来のまちづくりに向けた道路整備を期待している。4回のWGでの意見交換では、ハード面だけに限らずソフト面、自転車の安全走行に関する啓発なども必要と再認識できた。
- 位置付けられた道路の整備効果が早期に発揮されるよう、しっかりと進めていただきたいし、道路のストック効果を発揮しうよう、関連する当市の事業も積極的に進めてまいりたい。
- 渋滞での抜け道については、交通規制や速度制限などの意見があるが、規制だけでは対応できないところも多々あるので、今後も道路管理者と連携していきたい。また、大規模開発時には、市・県の道路セクションと開発セクションに連携して進めてもらいたい。
- この地域は工業地域や住宅が密集している。一般市民の住宅もあるので交渉は大変だと思うが、工業地域に入る幹線道路はしっかりした道路が必要である。これから5年10年の計画になるが、2025年は国体の開催もあり、皆さんを迎えるための道路整備をしていかないといけないと思う。引き続き、一般の方を巻き込んだ道路づくり、良い形で続けてもらえればと思う。
- 今後の維持管理について、利用している方の意見を聞くことが大事だと思う。特に障害のある人全般の意見も聞いてもらいたい。



◆◆◆ 地域ワーキング委員(敬称略、五十音順) ◆◆◆

綾井 考子 [草津栗東交通安全協会 副会長]	川瀬 正 [守山市都市経済部 部長]
井上 和典 [栗東市建設部 部長]	田中ひろ子 [守山野洲交通安全協会 会長]
岩崎 裕史 [公募委員]	滋賀県商工会議所女性会連合会 副会長]
打田 敏之 [草津市建設部 部長]	中井 拓 [守山警察署交通課 課長]
大黒 栄一 [公募委員]	平川 千波 [滋賀県トラック女子部会 会長]
小川 圭一 [立命館大学理工学部 教授] (座長)	三上 忠宏 [野洲市都市建設部 部長]
奥田 晃 [草津警察署交通第一課 課長]	山本 勇造 [公募委員]
奥田 康博 [(公財)滋賀県身体障害者福祉協会 常務理事]	

滋賀県道路整備アクションプログラム 地域別アクションプログラム 南部地域ワーキング
～南部地域ワーキングニュース～ 2023年2月発行

議事録URL
はこちら

【編集・発行】 滋賀県南部土木事務所道路計画第一課

〒525-8525 草津市草津3丁目14-75 TEL:077-567-5439 FAX:077-562-9234

E-mail: ha31100@pref.shiga.lg.jp URL: <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/douro/329350.html>

